

西福寺寺報 **道** - michi -
2026 (令和8) 年 秋彼岸号

あんたが苦しんでいる そのまんまが
親さんの お目当てだがなあ (足利源左同行)



浄土真宗本願寺派
(本山：西本願寺)

多聞山

西福寺

〒739-0152

東広島市八本松町吉川153-2

TEL: 082-429-1038

FAX: 082-429-1398

仏教婦人会月例法話会
(お寄り講 13:30~15:00)

9月16日(水)

下横野集会所 (お世話：下横野)

10月26日(月)

西福寺庫裏 (お世話：東郷)

11月お休み

お経会 (大人の寺子屋)
(毎月第3木曜日 13:30~15:00)

『正信念仏偈』を読む

9月3日(第1木曜日)

10月15日

11月19日

12月お休み

オアシス法話会
(毎月第4木曜日 13:30~15:00)

『仏さまの言葉を生きる』

9月24日

10月8日(第2木曜日)

11月12日(第2木曜日)

12月お休み

土曜学校
(毎月第2土曜日 9:00~10:00)

9月12日

10月10日

11月14日

12月12日

ほうおんこう (9:00~10:30 ごろ)



(今回の法座)
秋季彼岸会法座

9月10日(木) 昼席 (13:00~15:30 ごろ)

夜席 (19:30~21:00 ごろ)

11日(金) 朝席 (09:00~11:30 ごろ)

昼席 (13:00~15:30 ごろ)

ご法話 全国布教同志会広島支部布教大会

講師

広島支部所属布教使のみなさん

10日昼 福永和哉さん(安佐北区西福寺) 菅知尚さん(竹原市宝泉寺)

10日夜 龍花了相さん(安佐北区東善坊) 森岡恵隆さん(安佐南区法隆寺)

11日朝 平慈敬さん(中区西應寺) 長岡正信さん(呉市西岸寺)

11日昼 伊川大慶さん(三次市西覚寺) 深水謙昭さん(三原市西念寺)

YouTube での聴聞は、下の QR コードですぐにできます。

10日昼席



10日夜席



11日朝席



11日昼席



最初の
一歩

はじめての法座ガイド (初参拝の方へ)

- 服装自由・手ぶら OK (聖典/念珠/門徒式章があれば)
 - 1席のみ・途中入退堂 OK / イス席あり / 焼香は周りを見ながらでも大丈夫
 - 配信の見方も含め、困ったらお気軽にお問い合わせください。
- ※ お布施 (ご法礼) のお預けは任意です。

寺報を読み終わった後は、しまい込まないで、ご家族みなでご覧ください。
子どもさん、お孫さん世帯など用に2部
以上必要な方は、お知らせください。

法座

お寺だより

8月4・5日
歓喜会法座

【おつとめ】(4日昼)『三奉請』『表白』『正信念仏偈』

(4日夜)『しんじんのうた』

(5日朝)『正信念仏偈』(5日昼)『正信念仏偈』

【参拝者】54名(4席のべ人数)

【仏教讃歌】『Namo Amida Butsu』

【法話】「お釈迦さまのお弟子たち」讃嘆舎のみなさま(青年僧侶の布教勉強会)

各席の講師とご讃題

(4日昼)

水戸法道さん

(東広島市西条町下見 明顕寺)舎利弗さまに知るべし、われ五濁悪世においてこの難事を、阿耨多羅三藐三菩提を得て、一切世間のために、この難信の法を説く。これを甚難とす。

(『仏説阿彌陀經』)

(4日夜)

根来暁(当寺住職) 弥陀の本願信ずべし

本願信ずるひとはみな
撰取不捨の利益にて
無上覺をばさるなり

(『正像末和讃』夢告讃)

この度の歓喜会のご法座のテーマは「お釈迦さまのお弟子たち」です。

親鸞聖人は「正像末和讃」の冒頭に「弥陀の本願信ずべし」とお示しくださり、

阿彌陀仏のご本願をお聞かせいただいて、その願いを

依りどころとして歩ませて

いただく人こそが、お釈迦さまのお弟子の姿であるとお示しです。

お釈迦さまのお弟子にはさまざまの人がいらっしや

いました。最初のお弟子は共に修行していた5人の仲間

でしたが、さとりを開かれたお釈迦さまのお姿に感

動し、教えを聞く中でお弟子

子となられました。最初は出家者が集まりましたが、

次第に在家のまま、教えを依りどころとする方々も増

えます。お釈迦さまは生まれや境遇を問わず「弟子に

してください」という方をすべて受け入れていかれた

のです。阿彌陀仏のご本願は、す

べての生きとし生けるものを「自分と同じさとりの喜びの中に生き抜く『いのち』へと育てたい」という願い

であり、片時も忘れることなく思い続けてくださって

います。「その願いを依りどころとする」とは、私もまたすべての命の幸せを願

い続けることです。しかし、私たちには時間も能力も限

られています。元気な時は手を広げていられても、年

を重ねると肩が上がりなくなり、手の届く範囲が狭く

なって、最後の最後は「自分のことだけで精一杯」と

いう欲の心が深くなりま

す。反対に、周りを見てな

んであの人が怒りの心が起こってきます。「すべての

人を幸せにしたい」と願

いながらもできず、自分の欲を満たすことが幸せになり、

怒りによって自分の居場所を作っていく。そうして墮ちていく境界を「地獄」と

いいます。

そして、欲と怒りに支配された者が墮ちる最も厳しい地獄が、「無間地獄」です。

親鸞聖人は「この地獄で苦しむ悲しんでいる姿を見て、

あら楽しいやと思う者が墮ちるのが『無間地獄』である」と言われています。私たち

は、自分の欲が満たされることや、都合の悪い人がい

なくなるこそが幸せだと思

うて開き直って生きていくからこそ、苦しみがずつ

と続いていくのです。では、どうやってこの「地獄」か

ら抜け出せるのか。お弟子の中に「阿闍世」という人

がいます。

阿闍世は、友人の提婆達多にそそのかされ、父を殺

し母を牢獄に閉じ込めまし

た。自らの身体への傷の理由や、出生の秘密を知って、

激しい怒りから起こしたこ

とでしたが、父を殺したこ

とで、さらなる苦悩にさい

なまれ深い後悔に苦しみます。その苦悩の中で、大臣

の耆婆にお釈迦さまのもとへ導かれました。お釈迦さ

まは「私はあなたのために涅槃に入るのをやめます」と、苦しみ悲しみを抱えて

2026 07/18 現在

YouTube saifukuji_inweb 最新情報

登録者数

672

視聴回数

129,163 回

総再生時間

20,323.1 時間

歓喜会法座アーカイブ



8/4 昼席



8/4 夜席



8/5 朝席



8/5 昼席

秋季彼岸会法座次第

一、おつとめ

10日昼席『正信念仏偈』

夜席『しんじんのうた』

11日朝席『正信念仏偈』

昼席『正信念仏偈』

一、『浄土真宗の教草私の歩む道』

「教義」「生活」「宗門」

一、『聴聞の心得』

一、ご法話前半(約30分)

(休憩10分)

一、仏教讃歌

『み仏にいだかれて』

一、ご法話後半(約30分)

一、『浄土真宗の救いのよろこび』

一、『恩徳讃』

ださる仏のおはたらきに出
遇い、「たとえ私が地獄に
堕ちようとも、この教えと
共に歩ませていただきます」
と教えを依りどころとして
お弟子となっていられました。

「撰取不捨」とは「撰め取っ
て決して見捨てない」とい
うことです。たとえ地獄の
真つただ中では生きられ
ない者であっても、決して
捨てることなく、育て導き
続けてくださる阿弥陀仏の
願いは、今私たちの身の上
に「南無阿弥陀仏」という
お名号のお姿となつて届い
てくださっています。欲や
怒りの心を抱えたままのこ
の私の身の上に「なんまん
だぶつ」とお念仏の音が至
り届いてくださっています。

お念仏を称え、「欲や怒
りを抱えてしか生きられな
いこの境涯に『南無阿弥陀
仏』の声の仏となつて、共
に歩み導き続けてくださる
仏さまが今ここにおいでく
ださった」と、依りどころ
とさせていただくことこそ
が、真の仏弟子の姿です。

お弟子たちのお話を聞か
せていただくのは、遠い昔
の話を聞くためではありません。

せん。欲や怒りの尽きない
世俗を生きるこの私が、「南
無阿弥陀仏」と称えさせて
いただく真の仏弟子として
の人生を歩ませていただく
ためです。

〔5日朝〕
前寺信徳さん

(広島市安佐北区安佐町

親鸞におきては、ただ念仏
して、弥陀にたすけまゐら
すべしと、よきひと(法然)
の仰せをかぶりて、信ずる
ほかに別の子細なきなり。
(『歎異抄』第二条)

藤井大樹さん

(広島市安佐北区安佐町

いはんやわが弥陀は名をも
つて物を接したまふ。ここ
をもつて、耳に聞き口に誦
するに、無辺の聖徳、識心
に懺入す。
(『顕浄土真実教行証文類
行文類』)

〔5日昼〕

柳父一道さん

(広島市安芸区畑賀 品秀寺)
極重の悪人はただ仏を称す

べし。

(『正信念仏偈』)

徳正俊平さん

(三原市大和町 徳正寺)

仏説阿弥陀經

かくのごとく、われ聞きた
てまつりき。
(『仏説阿弥陀經』)

〔盆踊り〕4日昼席終了後『し
んらん音頭』よしかわ小唄』

ユーチューブでは、盆踊り
の様子も配信しています。
ぜひ全席お聴聞ください。

そ
の
他

7月28日

盆踊りの練習

仏
教
婦
人
会

7月26日

地区役員境内清掃

暑い中お疲れさまでした。
ありがとうございました。

オ
ア
シ
ス
法
話
会

7月23日 オアシス法話会

【参加者】10名

【おつとめ】『正信念仏偈』
『浄土和讃』『道光明朗超絶
せり 清浄光仏とまうすな

り
ひとたび光照かふるも
の
業垢をのぞき解脱をう
より6首 『御文章』『当流
勸化章』『御文章 ひらが
な版』211ページ
【ご法話】『だいじ だいじ
いつでも どこでも』

土
曜
学
校

7月25日

【参加者】5名

【おつとめ】『らいはいのうた』
【絵 本】『つくえはつくえ』
『とんで やすんで かんが
えて』作・絵/五味太郎(偕
成社)『よなかのさんぽ』作・
絵/おかねよしき(ビリケ
ン出版)

8月22日(兼夏の寺子屋)

【参加者】子ども8名 保護
者7名

【おつとめ】『らいはいのうた』
【絵 本】『ゆうだち』作/
あきびんご(偕成社)『や
どかりのおへやかします』
作/ウソップ吉田 絵/む
かいながまさ(ひかりのく
に)『なまずにいさん』作/
穂高順也 絵/西野沙織(講
談社)

土曜学校保護者のみなさ
ま、お手伝いいただき、あり
がとございました。

安芸教区・東広島組近況

8月16・25・26日
安芸教区見真編集委員会

8月27日
東広島組寺族研修会

(大竹市 下瀬美術館)

8月28日
安芸教区布教団役員会

9月5日
東広島組若婦人研修会

(寺家 正福寺)

9月17日
東広島組仏教婦人会連盟

広島別院清福
(広島市中区 本願寺広島別院)

10月13日
東広島組講習会

(造賀 源光寺)

10月23日
東広島組総代会総会研修会

(吉川 西福寺)

10月29・30日
安芸教区布教団後期研修会

住
職
近
況

8月7日
立善寺お盆法座出講

(廿日市市原)

8月19日
聞光の会(第124回)

(広島市中区 広島別院共命ホール)

9月2日
宗門を考ふる会公開特別講演会

(広島市中区 広島別院共命ホール)

9月17日
元浄寺秋彼岸法座出講

(東広島市高屋町小谷)

9月19日
明圓寺秋季彼岸法座出講

(三原市大和町椋梨)

10月5日
視聴覚伝道研究会布教研修大会

(京都市 龍谷大学大宮キャンパス)

10月7日
聞光の会(第125回)

(広島市中区 広島別院共命ホール)

10月12日
安芸教区布教団第33回聞法の集い

(本願寺広島別院本堂)

10月27日
安芸教区佐伯西組

仏教婦人会連盟研修会出講

(廿日市市 光明寺)

10月31日
備後教区三次組僧侶研修会出講

(三次市 みよしまちづくりセンター)

報恩講 (ほうおんこう) —親鸞聖人のご恩を偲ぶ、1年で最も大切な法要—

「報恩講」は、浄土真宗を開かれた親鸞聖人のご命日(1月16日)をご縁として、「み教えに出遇えたご恩」に報いていく法要です。

報恩講は、まず「ご自宅のお内仏」から始まり、「西福寺」、そして「京都の本願寺」へと広がっていきます。

「これまで家でお参りをしたことがない」「最近お休みしていた」というご家庭も、まったく心配いりません。

ぜひ、手を合わせるひとときをご一緒にいたしましょう。

ご自宅へのお参りについて

吉川・原地区の皆さま

ご希望の日時をお寺までお知らせください。ご都合に合わせて日程を調整いたします。

それ以外の地区の皆さま

お寺からお参りの候補日時をご案内いたします。

※ご都合が合わない場合は、いつでも日時の変更が可能です。

当日の準備とお願い

おつとめの時間/約30分です。

準備するもの/普段のお参りと基本的に同じです。

ろうそく/「赤い(朱色の)ろうそく」を灯します(※仏壇店などで市販されているもので大丈夫です)。

「お内仏の掃除やお供えはどうしたらいい?」「御布施の書き方は?」

など、分からないことがあれば何でも気軽に尋ねてください。



西福寺作品展 (秋季永代経法座同日開催)

10月20・21日 庫裏にて開催

「あなたの『好き』をお寺に飾りませんか?」

仏さまのまえで、みなさまの温かい作品を囲みながら、ゆっくりとひとときを過ごしましょう。本格的な作品はもちろん、日々の手芸・写真・お孫さんの描いた絵なども大歓迎です。秋季永代経法座とあわせて、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

出展受付 10月18日(日) 9:00~16:00

俱会一处

浄土での再会を期して

生前のご苦勞を偲び
謹んで哀悼の意を表します。

永代経懇志

亡叔父の志を継いで

亡母の志を継いで

亡母の志を継いで

ご懇意、衷心より感謝申しあげます。これからも、お念仏ご相續ください。

永

代経とは永代にわたりお経が残り、仏法が伝わっていくということです。

「永代経懇志」とは、先人の残し伝えてくださったみ教えを聴聞する「聞法道場」であるお寺が、永代にわたり存続することを願ってお預けされるお布施のことです。

今を生きる私たちが、先人から受け継いだ教えに出遇うためのご縁を、後世に伝えるためのお布施です。多くは故人の遺志を継いでお預けされますが、事前に預けくださっても構いません。

故人を永代にわたり追善供養してもらうためではありません。

感謝

ゆうちょ銀行への志 2件
ペイペイでのお賽銭 1件
お心遣いいただき、ありがとうございます。



はちす墓苑にお参りされる方へ

マイクロン広島工場の拡張工事にとともに、墓苑周辺の通行が制限される場合があります。

お墓参りの際には、交通誘導に従って、安全にご通行ください。



ペットボトルキャップをワクチンに

安芸教区では、ペットボトルキャップを回収し、世界の子どもたちにワクチンを届ける運動をしています。みなさまもぜひ、洗淨済みのキャップをお寺に持ってきてください。住職が広島別院に届けます。ご協力よろしくお願いいたします。





よろしく
お願い
いたします。

YouTube チャンネル 「saifukuji_inweb」



こんな方におすすめです！

- 法座にお参りしたいけれど、体調がすぐれず、長時間座ってられない。
- ご法話をもう一度ゆっくりお聴聞したい。
- ご法話に興味があるが、「お寺に行くのはちょっと…」とためらっている。
- 最近、お寺や仏教のことが、なんとなく気になってきた。

**まずは配信でご法座の
雰囲気を感じてください。**

チャンネルでは ご法座を配信中！

- ご法話だけでなく、お勤めや休憩時間も配信しています。お寺時間を一緒にしましょう。
- 過去のご法座もアーカイブしています。いつでもお聴聞してください。



見方はかんたん！

- ①「YouTube (ユーチューブ)」を開く。
 - ②「saifukuji_inweb」または「多聞山西福寺」で検索。
 - ③見たい動画を開く。
- LIVE 配信中の法座は、**LIVE** マークが目印。
(任意) 登録をすると、更新情報が届きます。

ホームページでも見られます

右のQR →
ホームページ内
YouTube (法座配信)



お手伝いします！

「見方がわからない」「スマホでうまく開けない」そんなときは、お気軽にご相談ください。一緒にご案内いたします。

★お問い合わせ★

表表紙の電話番号

裏表紙の連絡先へ

(電話・メール・SNS)

YouTube のお聴聞

(スマホ OK)

□通信料：視聴にはデータ通信料がかかります(Wi-Fi推奨)

「西福寺はちす墓苑」新規区画・門信徒合同墓利用者募集

〔対象〕 西福寺門信徒またはご縁のある方

〔費用〕

【新規区画】 永代使用 (1m × 2m) 30万円～
永代管理費別/墓石代別

【門信徒合同墓】 永代納骨ひとり5万円
(4人以上20万円)

納骨後は遺骨のお返しはできません。

一時預かりひとり1万円 (1年間)
最長 32 年間まで。

〔問合せ〕 詳しいご相談、お申し込みはお寺までご連絡ください。



門信徒合同墓

浄土真宗のことば入門 広辞苑編

たそがれ【黄昏】(古くは清音)

①「たそがれどき」の略。源氏物語(夕顔)「寄
りてこそそれかとも見ぬ」にほのぼの見る花
の夕顔」②比喩的に、物事が終りに近づき、衰えの見え
る頃。「人生の—」

たそがれ—どき【黄昏時】

夕方うす暗くなり「誰そ、彼は」と人の顔の見
分け難くなった時分。夕方。夕暮。宇津保物語
(菊宴)「夕暮の—はなかりけりかく立ち寄れど
とふ人もなし」

(『広辞苑第七版』)

今回は「黄昏」という言葉をとおして、仏さ
まの「どこでも」はたらいてくださっている
ことを味わいます。車を運転しているとき、昼間は周りがよく見
えて安心ですが、夕方になると途端に不安にな
ります。特に、行きなれていない場所ですと、
標識が見えにくくなり、目的地の看板などもつ
いつい見落したりしがちです。日ごろ意識を
しなかったことも、見分けにくくなったと実感
した瞬間に、問題となることがあります。厚生労働省元局長の村木厚子さんは、講演の
なかで「えん罪事件であったが、自分が被告人
となったときはじめて、罪を犯した人の更生に
ついて考えるようになった」と話されていまし
た。ひとはそれぞれの「立場」でしか物事を見
ていくことができません。そのことによって相
手の「立場」を思いはかることができなかった
とき、また反対に自分勝手に思いはかったとき、苦しみや悲しみが深まっていくのが、私たちの
境界なのかもしれません。しかし、この「問題」
は気がついたときに起こったのではなく、すで
にあったのに気がつけなかっただけなのです。

みようごうふしぎ 名号不思議

衆生の思いやはからいを超え、衆生を自在に救
う名号のはたらきをいう。『高僧和讃』には「名
号不思議の海水は、逆謗の屍骸もとどまらず
衆生の万川帰しぬれば、功德のうしほに一味な
り」(註585)とある。

(『浄土真宗辞典』(本願寺出版社))

衆生とは「生きとし生けるもの」のことであり、

「私」のことです。

親鸞聖人は『尊号真像銘文』のなかで、阿弥
陀仏のはたらきは「ときをきらはず、日をへだ
てず、ところをわかず、まことの信心ある人を
ばつねにてらしたまふ」とお示しくださってい
ます。「ときをきらわす」とは、私たちの過ごす
時間を選ばないということです。「いつでも」と
いうことです。「日をへだてず」とは、明日になっ
たらとか、日にちが経って立派になったらとい
うことでなく「今」ということです。「ところを
わかず」とは、「ここ」と「あそこ」を分けるこ
とがなく、「どこでも」という意味です。仏さま
は私が、どんな時間を過ごし、どんな状態であっ
ても、どんなところにおいても、「いつでも」「今」
「どこでも」護り育ててくださるのです。また、
このなかで、「どこでも」というのはけっして物
理的なところだけではありません。私たちはそれぞれが違う立場で生きています。
その立場はだれにも変わってもらうことはできません。自分が空腹になったとき、いくら心を
許し、わかり合った人であっても、代わりに食
事をとってもらうことはできないのです。また、
代わりに食べてあげることもできません。「生老
病死」の問題は、私ひとりが背負っていかなけ
ればなりません。私たちは「ところをわけられた」
なかでしか生きることができないのです。自分
以外は「誰そ、彼は」ともわからない分断され
た孤独のなかで、不安や悩みをいただき、まった
く動けないまままたたずむしかないのです。だからこそ阿弥陀仏は「あなたの思いやはか
らいを超えて『ところをわけける』ことなくはた
らく」と名のつてくださいました。その名のり
が「南無阿弥陀仏」の名号です。そのはたらき
に「摂め取られ捨てられることはない」と聞か
されたとき、私がひとりで背負わなければなら
ない「罪悪」を、ともに背負い、育て導きつづ
けてくださる安心をいただくのです。わたしは「ひとりぼっち」ではありません。
他人とまったく同じ苦しみや悲しみを分かち
合っていくことはできなくても、同じ仏さまの
はたらきのなかに摂め取られた「一味」であつ
たと、聞かせていただくのです。

今回のまとめ

●阿弥陀仏は、だれにも代わっ
てもらえない私を、「ところ
をわかず」見護り続けてく
ださる。●お念仏を申し、分断されてい
た私が同じ光のなかに生か
されている「一味」の身であ
ると知らされる。

浄土真宗のことば入門 『正信念仏偈』 その70

〔本文〕

建立無上殊勝願 超発希有大弘誓

〔書き下し文〕

無上殊勝の願を建立し、希有の大弘誓を超発せり。

(『浄土真宗聖典 註釈版』願浄土真実教行証文類行文類)

〔現代語訳〕

この上なくすぐれた願をおたてになり、世にもまれな大いなる誓いをおこされた。

(『浄土真宗聖典 願浄土真実教行証文類-現代語訳』)

第9願「設我得仏 国中人天 不神足 於一念頃 不至不能超過 百千億那由他 諸仏国中 不取正覚」(神足如意の願)

たとひわれ仏を得たらんに、国中の人天、神足を得ずして、一念のあひだにおいて、下百千億那由他の諸仏の国を超過することあたはざるに至らば、正覚をとらじ

(『願浄土真実教行証文類行文類 浄土真宗聖典註釈版』16 ページ)

わたしが仏になるとき、わたしの国の天人や人々が神足通を得ず、またたく間に数限りない仏がたの国々を飛びめぐることができないようなら、わたしは決してさとりを開きません。

(『浄土三部経-現代語訳』〔本願寺出版社〕)

世尊よ。もしも、かのわたくしの仏国土に生まれた生ける者どもが皆、たとえ心のほんの一刹那の中にでも、百千億・百万の仏国土を飛び越えて行く(神足通)ということによってでも神通自在の最高の完成に達しないようであったら、その間はわたくしは、〈この上ない正しい覚り〉を現に覚ることがありませんように。

(『浄土三部経(上)』中村元・早島鏡正・紀野一義訳注(岩波文庫))

神力自在なることは 測量すべきことぞなき
不思議の徳をあつめたり 無上尊を帰命せよ

「神力自在なることは 測量すべきことぞなき」の「神力」とは、辞書によると神通力、通力などと同じ意味で、仏・菩薩に具わる自由無礙な人間の力を超えた不思議なはたらきとあります。また「自在」とは、心の欲するままに何ごととも自由にできて障礙がないこととあります。

(中略)

「阿弥陀如来の安樂浄土の菩薩方は、如来の神力を身につけて、一念といわれる短時間に十

方無数の諸仏世界に詣でて、諸仏を供養したてまつる。その時、供養する華や香、伎楽やあるいは宝蓋、幢幡などは意のままに出現してくる……諸仏の教法を聴受し供養しおわれれば、短時間に虚に騰って弥陀の浄土に還りたまう。このように浄土の菩薩方は神力自在で測ることができない。故に我無上尊を頂礼したてまつる」(取意『註釈版聖典七祖篇』一六五頁)

このように『讃阿弥陀仏偈』では、浄土の菩薩方が十方諸仏世界に往還し、自由無礙に諸仏を供養したてまつる不思議なはたらきは測り知れないと讃えられています。それを、この和讃はうけられています。

「不思議の徳をあつめたり」の語は、『讃阿弥陀仏偈』ではなく、聖人が加えられたものです。その意味は二つあり、一つには浄土の菩薩が十方諸仏を供養するなど、自利の徳を積まれたこと、二つには先の和讃「安樂無量の大菩薩 一生補処にいたるなり」以下の四首の、浄土の菩薩方が衆生救済の利他の徳を積まれたことを表しているのでしょうか。そして、その二利の徳は、人間の相對・限界を超え勝れたものであると讃えられます。

「無上尊を帰命せよ」の「無上尊」とは阿弥陀如来を指します。浄土の菩薩が不思議の徳を集められるのも、そのもとは阿弥陀如来のお力によるからです。凡夫が浄土に往生し、直ちに不思議の徳を集めることができるのは、そのもとは阿弥陀如来が私たちに代わって自利利他の徳を集めてくださったからにほかなりません。それで、無上尊たる阿弥陀如来に帰命せよと勧められるのです。

自分を救うことも、他人を救うこともできない己が姿を悲しむとき、自利利他円満の無上尊を仰がずにおれません。

(『聖典セミナー 三帖和讃 I 浄土和讃』黒田覚忍著(本願寺出版社))

仏に成るとは、自利利他円満(自らの利益と他の利益が円かに満たされている)のおさとの身に成らせていただくことです。それは他と自在に寄り添うことのできない、私たち衆生を悲しまれているのです。

※ 2021 (令和3) 年 10 月 21 日の「お経会(大人の寺子屋)」講義資料からの抜粋です。

